



8月

31

田原本町総合防災訓練

予期しない災害に立ち向かうために



1



4



3



2



7



6



5

①磯城消防署・町消防団による放水訓練②協力して土のうを作製③町消防団第6分団員によるポンプ車操法④起震車で地震を体験⑤負傷者の救命の順序を決めるトリアージ訓練⑥ガレキから救出した負傷者への応急手当訓練⑦穴を狙ってのバケツリレー訓練

体験コーナーでは、起震車による地震の模擬体験、AED（自動体外式除細動器）を使った救命処置の実技指導、煙中体験、備蓄用食糧の展示・配布などが行われました。参加者は、互いの連携を強化するとともに、訓練の重要性と防災意識を改めて確認しました。

8月31日、東小学校運動場で「田原本町総合防災訓練」が実施されました。この訓練は、近い将来に発生が確実とされている東南海・南海地震に対する、防災関係機関の応急対策に関する準備の検証と、町民の防災意識の高揚を目的として行われました。磯城消防署や町消防団などの関係機関をはじめ、約400人が参加し、見学者も積極的に訓練に参加しました。



▲タイヤチューブのいかだで海を前進

8月21・22日に大阪府青少年海洋センターで「スポーツ少年団夏季野外活動」が行われ、スポーツ少年団員の小学6年生44人が参加しました。この活動は、さまざまな海洋活動をとおして、各地区の団員と親睦を はかり、心身とも健康で明るい明日への意欲を養うことをねらいとして実施。団員たちは、センターのリーダーの指導のもと、いかだ作りやカヌー・ヨットで海を楽しみました。

8月  
21～

## みんなと協力して海と親しむ スポーツ少年団夏季野外活動



▲田原本北小バツファローズのメンバー

8月8日から、明治神宮野球場で開催された「小学生の甲子園」とも呼ばれる「高円宮賜杯第34回全日本学童軟式野球大会」に、奈良県代表として田原本北小バツファローズが出場しました。開会式では、都道府県予選を勝ち抜いてきた51チームが集う中、元氣いっぱい入場行進。試合では、1点を争う接戦を繰り広げましたが、惜しくも初戦で涙をのみました。

8月  
8～

## 最後まで諦めず全力プレー 高円宮賜杯第34回全日本学童軟式野球大会



▲協力してカレーライスの食材を切る

8月27・28日、自然の中での体験を通じて、協調性や責任感、連帯感を育てることを目的とした「小学生宿泊体験学習」が国立曾爾青少年自然の家で行われ、小学5・6年生58人が参加しました。子どもたちは、シニア・ジュニアリーダー（町子ども会連絡協議会）の指導のもと大自然の中でフォトリングをしたり、カレーライスを作ったりして、共同生活を楽しみました。

8月  
27～

## 大自然の中でみんなと生活 曾爾高原宿泊体験学習



▲ホースを伸ばし、勢い良く競技開始

8月21日、町消防団第6分団員6人が「第25回奈良県消防操法大会」に出場しました。この大会は、消防団員の消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、火災時における迅速的確な消火活動に資することを目的としています。選手たちは、きびきびとした行動で、日ごろの訓練の成果を存分に発揮し、息の合ったポンプ車操法を披露しました。

8月  
21

## 日ごろの訓練の成果を発揮 第25回奈良県消防操法大会